

第5回 大塚地区

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

日 時：令和4年3月27日(日)

午後1時30分～午後4時30分

主 催：蒲郡市

ZoomID：954 1835 7444

パスコード：214924

プログラム

開会	1：30
趣旨と経緯について ・ワークショップの趣旨・目的、進め方とスケジュール ・前回ワークショップの議事概要	1：35
地区利用型施設再配置プラン案について ・評価の修正 ・付帯事項	1：50
グループ討議1 ・将来の大塚地区の公共施設の配置としてふさわしい案（絞り込み）	2：10
(休 憩)	3：10
発表1	3：20
グループ討議2 ・各案について配慮すべきことや実施する上で注意すべきこと（付帯事項）	3：40
発表2	4：10
あいさつ	4：25
閉会	4：30

<目次>

- ・ ワークショップの趣旨・目的 1
- ・ 進め方とスケジュール 2
- ・ 第4回ワークショップの結果概要（案） 7
- ・ 第4回ワークショップふりかえりシートご意見 14
- ・ ご質問等への回答 16
- ・ 大塚地区の再配置プラン案 18
- ・ 評価に関する修正意見についての対応及び考え方 21
- ・ 再配置プラン案の評価検証【修正版】 27
- ・ 付帯事項について 30
- ・ 本日の検討内容 32
- ・ （別冊）項目ごとの評価の解説【修正版】

ワークショップの趣旨・目的

蒲江市では、急激に変動する社会情勢に対応した公共施設の機能配置や魅力向上を図るとともに、将来に大きな負担を残さない行財政運営を実現するために、公共施設マネジメントの取り組みを進めています。

これまでに市民の皆様のご意見を伺い、「蒲江市公共施設マネジメント基本方針」と「蒲江市公共施設マネジメント実施計画」を策定し、今後の公共施設の整備を進めるための道筋を示しました。

その計画では、小中学校、保育園、児童館及び公民館（地区利用型施設）の再編にあたっては、中学校区単位で住民の皆様のご意見を伺い、施設再編計画となる「地区個別計画」を策定することとしています。

このワークショップは、「蒲江市公共施設マネジメント基本方針」を踏まえ、これから起こる様々な社会の変化や地域の課題に対応した既成概念にとらわれない、より良い公共施設の配置や使い方を考えるために開催するものです。

蒲江市公共施設マネジメント基本方針

- ①適正化 将来を見据えた維持可能な施設規模に適正化します。
- ②効率化 効率的・効果的な維持管理を実施します。
- ③魅力 社会変化に対応した魅力ある公共施設へ再編します。
- ④安全性 計画的な保全により公共施設を安全に維持します。
- ⑤実行力 公共施設の再編に向けて実行体制を構築します。

市は、皆様のご意見を参考に大塚地区の「地区個別計画」を策定し、施設の再配置を進めることで、“住んでよかった”“住み続けたい”と思えるような誇りと愛着を持てるまちづくりを目指します。

進め方とスケジュール

1

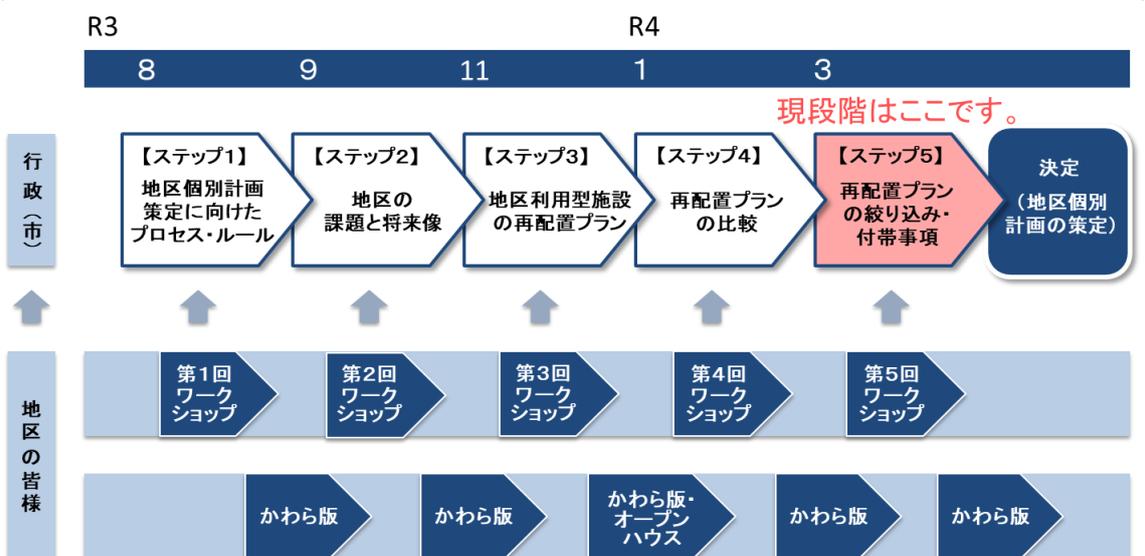
検討のステップ

市は、ワークショップ等で得られた成果をもとに、「地区個別計画」の策定に向けて次の5つのステップに分けて、段階的に検討を行います。

- ステップ1** ワークショップ等を通じ、地区個別計画をどのような手順で策定するか確認します。
- ステップ2** 地区にどのような課題があるか確認して問題意識を共有します。
- ステップ3** 課題解決に向けた方策について共有し、複数の再配置プランを検討します。更に、複数の再配置プランを比較するための評価の視点について検討します。
- ステップ4** 複数の再配置プランをステップ3で検討した視点に基づき評価し比較します。
- ステップ5** 再配置プランを絞り込むとともに、運営面での工夫等の付帯事項について整理します。

2

スケジュール（予定）



3 コミュニケーション

「地区個別計画」の策定に向けた検討では、地区の皆様と様々なコミュニケーションを進めていきます。

- ・ ワークショップ
- ・ オープンハウス（パネル展示型説明会）
- ・ かわら版



【オープンハウス（パネル展示型説明会）】

地区の住民の皆様が集まる施設などでパネルを利用し、ワークショップでのご意見や検討された再配置プランなどの内容を広報します。

どなたでも立寄ることができ、住民の皆様からワークショップで検討されている内容についてのご意見をいただきます。

大塚保育園及び大塚西保育園、大塚公民館、大塚中学校にて開催し、利用者を中心に多くの方にご参加いただきました。

【かわら版】

地区内の各世帯に配布するチラシです。各回のワークショップ終了後、広報がまごおりとともに配布を行います。ワークショップでのご意見や検討された再配置プランなどをお知らせするとともに、ワークショップで検討されている内容についてのご意見を募集します。

4 ワークショップの概要

- ワークショップは、令和4年3月までに5回開催します。
- 原則、日曜日に開催します。
- 新型コロナウイルス感染症対策のため、オンラインで開催します。ご自宅等からの参加が難しい場合は、大塚中学校にて参加できます。
- 事務局は、蒲郡市総務部公共施設マネジメント課が担当します。
- ワークショップには、公募でご応募いただいた方が参加します。
- 同じ参加者に継続してご参加いただき、議論を深めていきます。
- ワークショップでは、参加者の皆様にグループ討議で自由にご議論いただきます。
- 大塚中学校に設置された中継会場から一般の傍聴者や報道関係者が会議を傍聴することができます。

5 ワークショップの進め方

- グループ討議の運営では、円滑な議論のため、司会進行を第三者的立場のファシリテーターがお手伝いします。
- ワークショップでは、グループごとの議論を中心に進め、各回ワークショップの最後に各グループの議論の結果を発表します。
- グループ討議の議論は要点をまとめて記録します。これは個人の発言が特定されるものではありませんので、自由に前向きな議論をお願いします。
- 市に対する要望・陳情の場ではありません。
- ワークショップの様子をホームページ等で公表するなど情報発信を行います。話し合いの様子を記録する場合がありますことをご了承ください。

6 ワークショップの成果

- ワークショップでのご意見を踏まえて複数の再配置プランを評価・比較し整理します。
- 整理した内容は、市が「地区個別計画」を策定する際の基礎情報として活用します。

7 ファシリテーターのご紹介

～こんにちは。皆さんの議論を円滑に進めるために、第三者的立場から議事進行やとりまとめをお手伝いします。どうぞよろしくお願いいたします。～

なばた めぐみ
名畑 恵

NPO 法人 まちの縁側育くみ隊

ふじもり みきひと
藤森 幹人

株式会社 対話計画

かつらやま としあき
葛山 稔晃

株式会社 対話計画

いなば ひさゆき
稲葉 久之

フリーランス・ファシリテーター

- 話し合いに積極的に参加しましょう
- 自分の考えを率直に述べましょう
- 前向きな思考で発言しましょう
- 評論家ではなく当事者として関わりましょう
- 他の参加者の意見に耳を傾けましょう
- 気持ちよく運営できるよう協力しましょう
- 議論や運営に貢献する姿勢を讃えましょう

(必要があれば追加しましょう)

第4回ワークショップの結果概要（案）

1 評価表について

1) 評価方法全般

- 各案とも同じ評価の項目が多く、差が分かりにくい。
- 世代や地区によって、どの項目を重視するのかは異なる。

2) 視点ごとの評価項目

① 多様な人々との交流

<ア 多様な方との交流が行いやすい施設配置となっているか。>

- 最も多くの施設が集合するA案は、特に世代間交流が期待できるため、他よりも評価してもよいだろう。
- 全ての機能を集めるのは無理があるので、「交流のはかりやすさ」は施設がある程度分散していても◎で妥当だ。
- 施設が離れていても運用面で工夫すれば交流は可能であるので、施設の位置関係だけで評価するのは違うと思う。（項目サ、セも同様）

<ウ 地域行事で活用しやすい施設配置となっているか。>

- 施設の配置にあたっては、地域行事での活用は重要な視点である。
- ほとんどの案で△になっており、公民館または同様の施設を西大塚に配置するなどして状況を改善することはできないだろうか。

<エ 若者・外国人などが利用しやすい施設が整備されているか。>

- 評価基準が分かりにくく評価に差が出ていない。

<評価項目の追加>

- 施設の駐車場など、オープンスペースについても評価に加えてよいのではないか。

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

② 子育てしやすい環境づくり

- 車による送迎の利便性だけでなく、徒歩での送迎も楽しめるような環境があるとよい。移動のしやすだけが子育てしやすい環境とは限らない。

<キ 自動車を利用しやすい保育園は整備されているか。>

- 保育園の駐車場の確保は重要である。

<ク 駅から利用しやすい保育園は整備されているか。>

- 駅から働きに行く親にとっては、重要な項目である。

<コ 広々とした校庭・園庭は整備されているか。>

- 複合化した際に、校庭や園庭が窮屈にならないか心配だ。子ども達が不自由に感じないように配慮や工夫が必要だろう。

③ 子ども達の居場所づくり

- おおよそ妥当な評価だろう。

<サ 異年齢の子ども達が交流しやすい施設配置となっているか。>

- 施設が離れていても運用面で工夫すれば交流は可能であるので、施設の位置関係だけで評価するのは違うと思う。(項目ア、セも同様)

<シ 子ども達の遊び場は確保されているか。>

- 放課後の子ども達の遊び場についてもっと重視すべきだ。児童館が他の施設とプログラム上も連携することが重要だろう。

<ス 子ども達の居場所に選択肢があるか。>

- 子ども達の居場所づくりについては、すべての案で○となっているが、他に評価項目は考えられないだろうか。

④ 生涯現役でいられる地域づくり

<セ 高齢者が子ども達の活動を支えられる施設配置となっているか。>

- 公民館機能を他の機能と集合させ、交流が増えることが望ましい。特に、

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

公民館と保育園の集合は、利用者の生活リズムなどの面から、高齢者が活躍できるのではないか。

- 公民館が児童クラブと連携し、高齢者が子どもに様々なことを教えてあげられると良い。
- 施設が離れていても運用面で工夫すれば交流は可能であるので、施設の位置関係だけで評価するのは違うと思う。(項目ア、サも同様)

<評価項目の追加>

- 高齢者の利用が多い公民館は、地区の中心部にある駅に近いなど利便性が重要ではないだろうか。

⑤ 安全・安心

- 子ども達にとって安全で利用しやすいという視点を優先したい。

<タ 避難所機能は確保されているか。>

- 避難所の確保については、再編対象施設以外の避難所も含めて評価をすべきではないか。

<ツ 交通安全に配慮された施設配置となっているか。>

- 大塚金野線開通による影響を評価に盛り込むことはできないか。

<その他>

- 旧道の安全性について対策を考えてほしい。

<評価項目の追加>

- B案の「西大塚に施設が残る」という点を評価できないだろうか。
- 子ども達のセキュリティは重要な視点である。
- 「保育園児が災害時に安全でいられる施設配置になっているか」という項目を追加するのはどうか。
- 周辺の交通量を指標に「保育園の周辺が安全な環境であるかどうか」という項目を追加するのはどうか。

⑥ 利便性の確保

<評価項目の追加>

- 施設が東側に偏ることについて、評価に反映されているだろうか。

2 再配置プランについて

<全般>

- 全ての案が魅力的でどれか一つを選ぶことができない。

<複合化について>

- 公民館と小学校の集合は、地域住民と子どもが日常的に交流できてよい。
- 時間の流れを共有できそうな公民館と保育園が一緒になるのがよい。
- 災害時を考えると、機能を1か所に集合させるのではなく、分散配置することも必要だ。

<再配置について>

- 子育て世代からは、保育園と児童クラブは近い方がよいと聞く。
- 既存の敷地だけでなく、新たな候補地も含めて検討できるとよい。

<学校の教育環境>

- 環境になじめない子どもの逃げ場を作る考えも必要ではないか。
- 子どもの生活環境や認知レベルが異なるため、保育園と小中学校は分けたほうがよい。

<跡地や敷地利用について>

- 廃止後の跡地を地域で集える場所や安全に運動できる場などにしていくとよいのではないだろうか。
- 大塚保育園の敷地について、隣接施設とともに福祉の一体的な拠点として再整備すると有効活用できるのではないだろうか。
- 大塚西保育園敷地について、既存の建物を活用し休憩所や災害時の避難所として活用してはどうか。
- 大塚西保育園敷地について、民営保育園における活用可能性も踏まえ検討

した方がよい。

- 大塚西保育園敷地について、西大塚の住民が交流できる施設を設けることで、東側への施設の偏りを改善できる。
- 公民館の敷地は、地区の中央にあって駅に近く立地がよいため、有効活用していきたい。

<新しい施設の利用について>

- 新しい公民館には、市や地域の情報提供や地域交流に関する機能を充実してほしい。

<安全>

- 通学路でドライバーに対し注意喚起を続けることで、子ども達の安全・安心を保っていくことが必要だ。
- 危険を排除するだけでなく、なぜ危険なのかを理解することで安全性の向上につながる。
- 施設に様々な人が集まり、あいさつを交わす関係となることは防犯上、効果的である。

<災害時の避難場所>

- 避難所については、地域の実情に即して考えるべきである。
- 施設跡地を公園などにするとしても、災害時の避難所としては何等かの建物（施設）が必要ではないだろうか。
- 大塚西保育園がなくなったら、付近の人は蒲郡東高校に避難することになるのだろうか。特に西大塚の住民には、避難場所の情報などをきちんと伝えていく必要があるだろう。

<意見の反映について>

- 中学生向けのオープンハウスにおける意見は意義深い。将来の担い手である中学生の考えも、配置案の検討にしっかりと取り入れていくのが良いだろう。

<A案>

- 機能を1か所に集約しすぎており、空間的にも機能的にも無理があるのではないか。

<B'案>

- 乳幼児は自力で避難することができないため、保育園は避難行動をとらずとも安全な大塚保育園敷地にあるほうがよい。
- 大塚保育園の近くには地域で整備した「里山」があり、園児の遊び場として有効に活用できるだろう。
- 公民館の敷地は地区の中心で駅に近く立地が良いので、公民館を小学校に移転せず、そのまま活用する案を提案したい。
- 駐車場確保等の面から、小学校敷地に全ての機能を集約せず、小中学校の機能のみ中学校敷地に集約するのはどうか。

<C案>

- 公民館は現在の位置がよい。駐車場の確保や生徒の安全面等を考慮して、中学校敷地に小中学校、小学校敷地に保育園、児童館、児童クラブを整備するのがよい。

<D案>

- 産子山児童遊び場を駐車場として利用すると保育園と高低差が生じるため、子どもを連れての利用に負担を感じるだろう。
- 公民館敷地での保育園の整備は、園庭と駐車場の確保が難しいのではないか。
- 駐車場は平面での確保が難しいのであれば、立体駐車場として整備するなども考えられるのではないか。
- 保育園の配置には、新幹線や鉄道、行き交う車両など周辺の騒音も配慮した方がよい。
- 公民館周辺は交通量が多く、園児にとって危険ではないだろうか。
- 将来的な交通状況は予測がつかないため、現時点で交通量について不安視

しなくても良いのではないだろうか。

- 公民館敷地に保育園等が集約された場合、駐車場へ出入りする車により渋滞が生じる懸念がある。

<D' 案>

- 電車を利用する人には保育園が駅前にあると利便性が高まり評価できる。
- 駐車場の確保が難しいのではないか。
- 駐車場は建物の屋上部に確保できないか。
- 保育園との合築により、公民館が上層階（2階や3階）になるのは好ましくない。1階に公民館入口とロビーが設置され、地域情報や交流の場となるべき。

第4回ワークショップ ふりかえりシートご意見

1 今日の議論で良かったこと

- 中学生の意見も聞いて良かったです。
- 7つの案にとどまらず更なる提案が持ち上がりました。
- 中学生の受験の事まで考えていなかったのが小中一貫とするならばこの点については配慮が必要だなと感じました。

2 内容について言い足りなかったこと

- 現在、大塚の母子寮はどのように？ 今、母子寮に入居する人は少ないと聞いたのですが、実際は？ 大塚保育園の敷地と隣接しているのでちょっと気になりました。
- 公民館は独立した場所にしたい方が良くないかなと思います。モデルケースのように広大な土地に建てるわけでは無さそうなので。
 - ・ウイルス対策として高齢の方と子供が交流する場所が同じなのは良くない気がします。
 - ・大人の方の生涯学習も含めて出入りがあると、気が散って勉強に集中できないのではないかな？と思います。小中一貫、西と東保育園は1つ、公民館は独立する方が良くないかなと思います。
- 優先するプランニングによって統合する配置が変わると思います。
- 自分としてはCの派生案（Cダッシュ案）が良いのではと思います。
 - ・中学校に小学校のみを統合。
 - ・小学校に保育園、児童館を統合（児童館利用年齢を考えると）。
 - ・公民館は現状位置で今後の利用範囲を思うと名称変更しては？公民館って高齢者の方が利用するイメージを持ちます。

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

- 図書館で勉強する学生を思うと公民館内にも小さな学習スペースが有ってもいい。
- 施設だけ統合しても交流は生まれないと思います。
- どんな内容（活動）で結んでいけるのか、が大事。
- 現在、大塚保育園が隣接する介護施設の方と交流出来ているのか？気になる。
- 駐車場の事や送迎渋滞緩和を考えると分散型が良いように思えます。
- 23号バイパスと大塚金野線開通による自動車の流れで配置検討。
- 高齢化の進む農地買収利用。
- 旧餅宇野住宅跡地の未使用地利用。
- 中学生から出た意見を沢山活かして欲しいと思います。
- 空いた施設利用としてマルシェ的なスペースも良いのでは？会費制で店舗利用（週単位、月単位、年単位など）。

ご質問等への回答

- 大塚西保育園がなくなったら、付近の人は蒲郡東高校に避難することになるのだろうか。
- 避難所については、地域の実情に即して考えるべきである。

既に蒲郡東高校は指定避難所、指定緊急避難所として指定されており、災害時には市民の避難生活の拠点の一つとなる予定です。

地区内で指定されている避難施設について以下にまとめましたので検討の参考にしてください。

表：避難施設指定状況

施設名	指定避難所	指定緊急避難場所	地域避難場所	届け出避難所
大塚中学校	●	●		
大塚小学校	●	●		
大塚公民館			●	
大塚保育園	●			
大塚西保育園	●			
(県立) 蒲郡東高校	●	●		
ひめはる会館				●

- 指定避難所：被災者が避難生活をするための場所。学校体育館などがこれにあたり、地震などの大規模災害時に開設。
- 指定緊急避難場所：地震などの災害の危険から命を守るため、一時的に避難する場所。学校の校庭や公園が指定されている。
- 地域避難場所：台風などの風水害の際、少人数の方が一時的に避難するために開設する場所。公民館や児童館が指定されています。
- 届け出避難所：地域の方が自主的に開設し運営する避難所として市に届出がある施設です。主に地域集会所などが届け出されています。

- 現在、大塚の母子寮はどのように？ 今、母子寮に入居する人は少ないと聞いたのですが、実際は？（ふりかえりシートより）

現在、母子寮は「母子生活支援施設」と呼ばれており、18歳未満の子どもを養育する母子家庭等の女性入居者に対し、心身と生活を安定するための相談・援助を行いながら自立を支援する施設です。

ご質問いただいたように大塚保育園北側に市が運営する母子寮「ひめはる荘」がありましたが、利用者の減少や施設の老朽化により平成21年度末に廃止されました。建物は現在、隣接する社会福祉法人が運営する障がい者支援施設として活用されています。

また、県内には社会福祉法人等が運営する母子生活支援施設がいくつかあり、必要に応じて入所案内をしています。近年の相談件数はごくわずかです。その他、蒲郡市ではひとり親家庭への支援として、キャリアカウンセラーによる就業相談の実施や福祉資金貸付事業、日常生活支援事業などを行っています。

- 大塚保育園が隣接する介護施設の方と交流できているのか？気になる。（ふりかえりシートより）

コロナ禍以前は隣接する養護老人ホームと頻繁に交流が行われており、以下のような活動が行われていました。

- ・ 保育園の運動会に施設入居者が参加。
- ・ 保育園の発表会開催にあたり、園児が招待状を作成。施設入居者を招待。
- ・ 老人ホームで開催するお餅つきに園児が参加。

など

A

多世代交流の拠点をつくるプラン

【重点を置いた解決策】①②

- 現在の大塚中学校の敷地に、大塚中学校、大塚小学校、大塚公民館、大塚保育園、大塚西保育園、児童クラブの機能を集め、大塚地区の交流拠点をつくります。
- おおつか児童館は現地で適切に維持していきます。

A'

A案の小中学校、児童クラブの集合先を変更し、児童館も集合するプラン

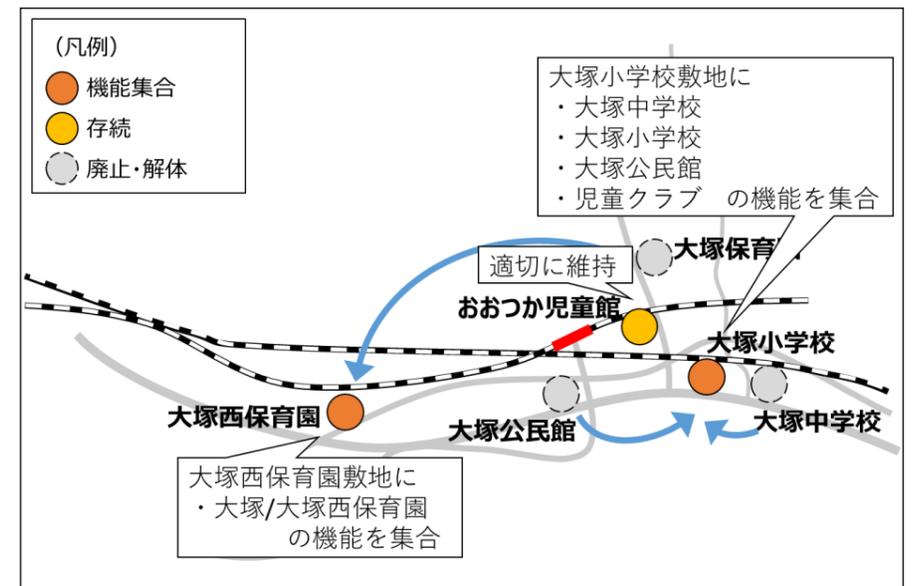
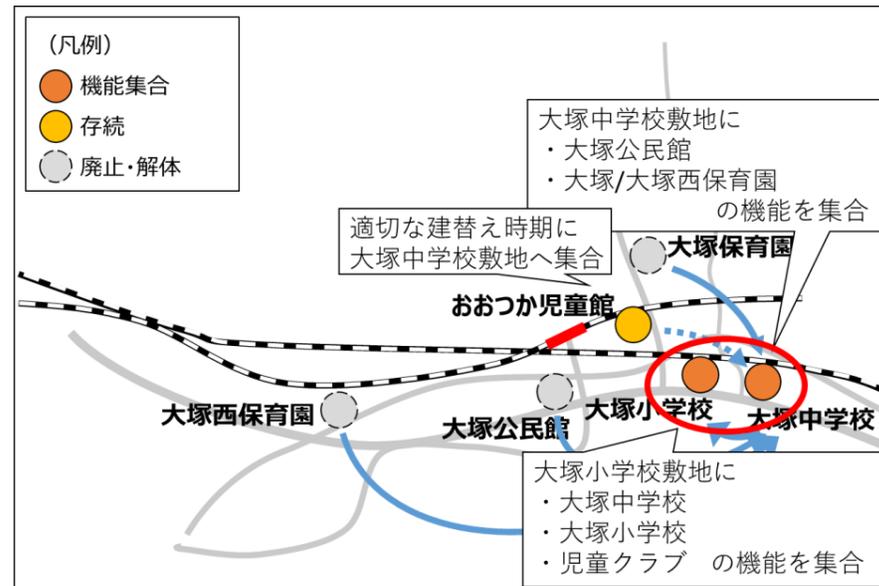
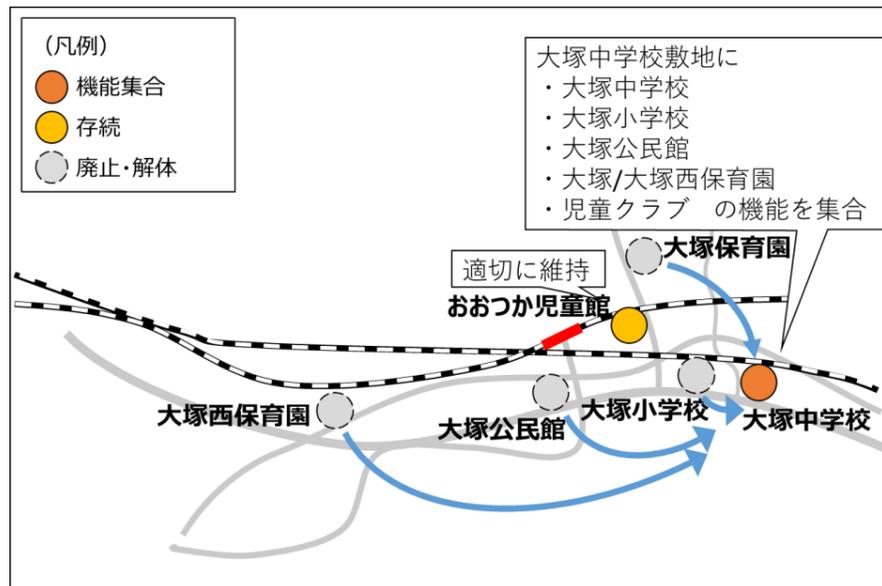
- 現在の大塚中学校敷地に、大塚公民館、大塚保育園、大塚西保育園の機能を集めます。
- 現在の大塚小学校の敷地に、大塚中学校、大塚小学校、児童クラブの機能を集めます。
- おおつか児童館は適切な建て替え時期に大塚中学校敷地へ集合します。

B

災害時の避難所を確保するプラン

【重点を置いた解決策】⑦

- 現在の大塚小学校の敷地に、大塚中学校、大塚小学校、大塚公民館、児童クラブの機能を集め、地域に開かれた教育の拠点をつくります。
- 現在の大塚西保育園の敷地に、大塚保育園、大塚西保育園の機能を集合します。
- おおつか児童館は現地で適切に維持していきます。



特徴

- 中学校、小学校、公民館、保育園が一か所に集合することで、大塚地区の多様な交流を生む拠点ができる。
- 保育園から中学校が1ヶ所にあることで合同での行事実施や異なる年齢間でのつながりが期待できる。

【関連する解決策】①②③④⑤⑥⑪

課題

- 地区の西側住民のアクセス性が低下する。
- 現在避難所に指定されている施設が全て東端に寄ること、避難に時間がかかる。

特徴

- 公民館、保育園が中学校敷地で集合することで、駐車場や園庭を広く確保できる。
- 将来的に公民館、保育園、児童館が集合することで、大塚地区の憩いの場が整備される。

課題

- 建物、駐車場、園庭等を確保してもなお、残地が発生する可能性がある。
- 小中学校と公民館が離れてしまうため、多世代交流を創出するための工夫が必要である。

特徴

- 中学校、小学校、公民館が集合するため、学校を起点とした地域に開かれた教育の拠点が整備される。
- 大塚西保育園敷地に保育園が集合することで、地域の西側に施設を維持することができ、避難所として活用できる。

【関連する解決策】①②③⑤⑥⑦⑧⑩⑪

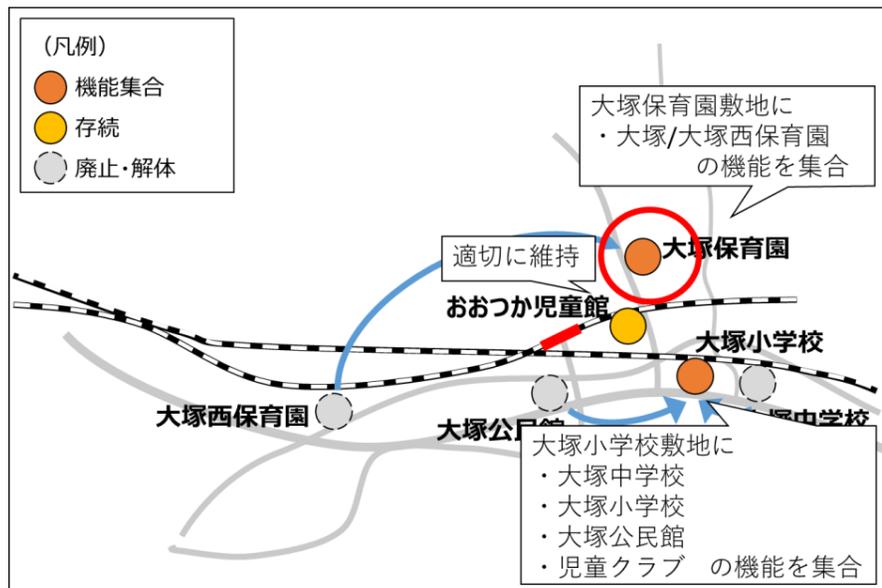
課題

- 保育園と児童クラブが離れてしまうため、お迎えの負担が増える。
- 大塚西保育園は現状でも駐車場が少ないため、2園集合に伴い新たな駐車場の確保が必要である。
⇒大塚西運動広場を駐車場として活用できないか検討します

B'

B案の保育園の集合先を変えたプラン

- 現在の大塚小学校敷地に、大塚中学校、大塚小学校、大塚公民館、児童クラブの機能を集めます。
- 現在の大塚保育園敷地に、大塚保育園、大塚西保育園の機能を集めます。
- おおつか児童館は現地で適切に維持していきます。



特徴

- 地区内でも海拔の高い大塚保育園敷地に避難所を確保できる。
- 大塚保育園に隣接する福祉施設との連携に期待がもてる。

課題

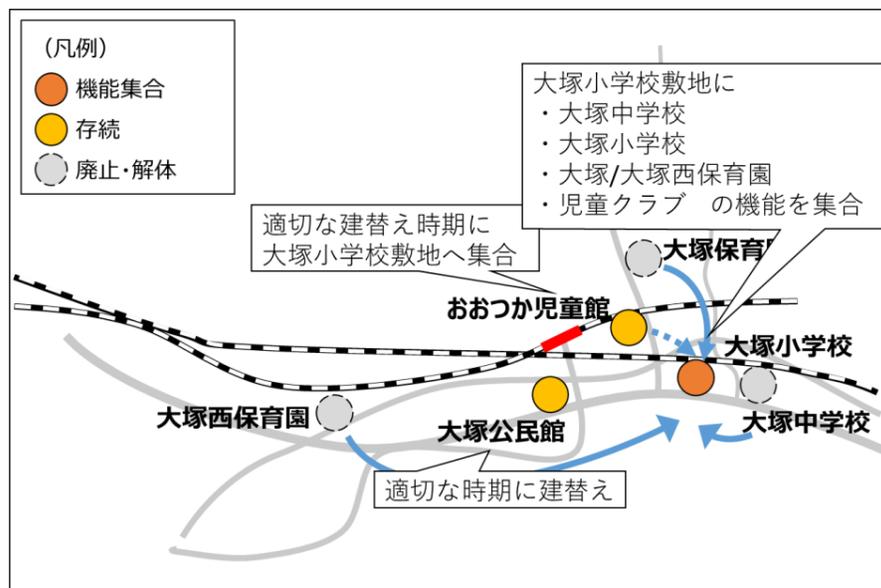
- 地区の西側住民のアクセス性が低下する。

C

子育ての拠点をつくるプラン

【重点を置いた解決策】④⑩

- 現在の大塚小学校の敷地に、大塚中学校、大塚小学校、大塚保育園、大塚西保育園、児童クラブの機能を集合し、子育ての拠点をつくります。
- 大塚公民館は現地で維持し、適切な時期に建替えます。
- おおつか児童館は適切な建て替え時期に大塚小学校敷地へ集合します。



特徴

- 地域の中心にある公民館が現地で維持されることで、アクセス性が保たれる。
- 中学校、小学校、保育園が集合する上、将来的に児童館も移転することで、子育ての拠点が整備される。

【関連する解決策】②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪

課題

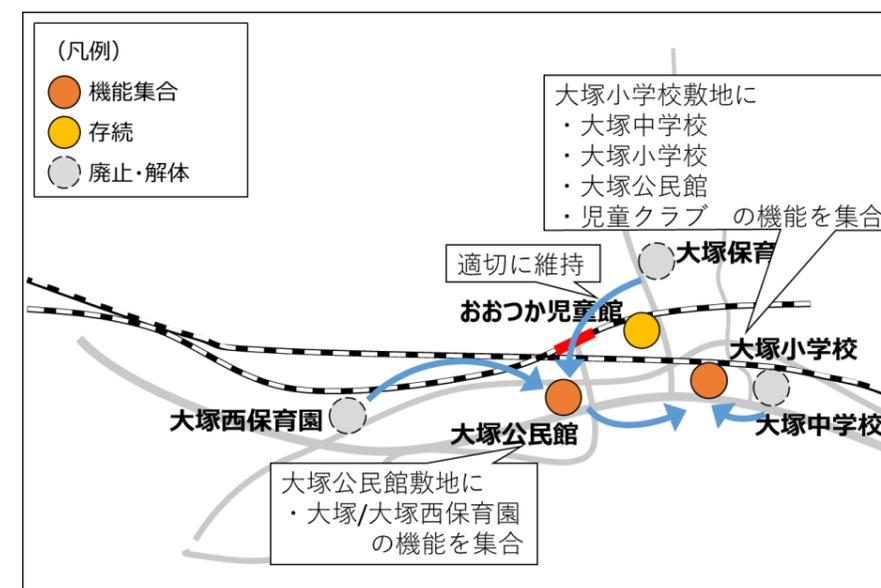
- 小中学校と公民館が離れてしまうため、多世代交流を創出するための工夫が必要である。

D

子育てにおける利便性向上を図るプラン

【重点を置いた解決策】③⑩

- 現在の大塚小学校敷地に、大塚中学校、大塚小学校、大塚公民館、児童クラブの機能を集合します。
- 現在の大塚公民館敷地に、大塚保育園、大塚西保育園の機能を集合します。
- おおつか児童館は現地で適切に維持していきます。



特徴

- 駅前かつ地域の中心にある公民館敷地が活用できる。
- 公民館敷地に保育園が集合するため、お迎えの負担が軽減される。

【関連する解決策】①②③⑤⑥⑦⑧⑩⑪

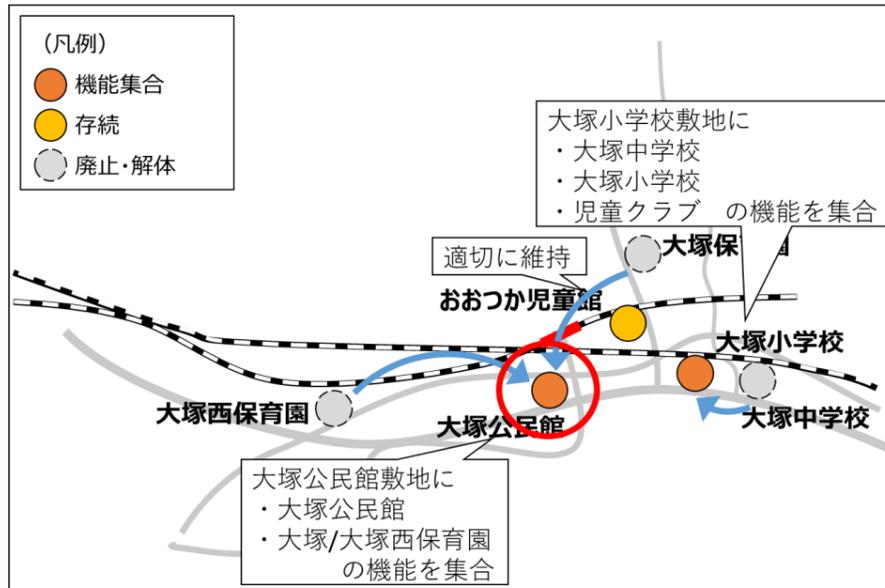
課題

- 保育園の移転に伴い、移転先の周辺住民の生活環境の変化が懸念される。
- 現状の公民館敷地では、駐車場の確保が課題である。
⇒産子山児童遊び場を駐車場として活用できないか検討します。

D'

D 案の公民館の集合先を変更するプラン

- 現在の大塚小学校敷地に、大塚中学校、大塚小学校、児童クラブの機能を集めます。
- 現在の大塚公民館敷地に、大塚公民館、大塚保育園、大塚西保育園の機能を集合します。
- おおつか児童館は現地で適切に維持していきます。



特徴

- 公民館と保育園が集合することで、保育園児とお年寄りの交流に期待ができる。
- 地域の中心にある公民館が現地で維持されることで、アクセシビリティが保たれる。

課題

- 公民館敷地内の施設配置に工夫が必要である。
 - 駐車場が著しく不足するため、産子山児童遊び場の他、新たな土地確保の目途がつかない場合は実現不可能である。
- ※ 追加で 40 台分程度 (1,000 m²程度) が必要となる想定です。

(参考) 小中学校規模適正化方針/グランドデザインの考え方について

〈小中学校規模適正化方針〉

【標準規模・標準配置】

	標準規模	標準配置	
		通学距離	通学時間
小学校	12~18 学級	概ね 4 km	1 時間以内
中学校	9~18 学級	概ね 6 km	1 時間以内

→市の標準規模を下回る規模の学校は適正化に向けた検討を行う

【地区内の適正化検討対象校とその対応策】

- 大塚小学校
[令和3年] 普通学級数：11 学級 児童数：275 人
[推計 (令和 22 年)] 普通学級数：6 学級 児童数：205 人
- 大塚中学校
[令和3年] 普通学級数：6 学級 児童数：136 人
[推計 (令和 22 年)] 普通学級数：5 学級 児童数：108 人

→方針：「小中一貫教育の導入」を行い、柔軟かつ大胆な教育環境を構築

将来推計では、小学校は全学年 1 学級、中学校は 1 学級の学年が発生する規模になることが見込まれています。三谷地区との合流する手法を用いれば、規模自体は適正化される可能性はあるものの、通学距離の基準を超えるエリア（相楽町地区周辺）がある等の課題が発生します。

そのため、小中学校が一緒になる小中一貫教育を導入し、異なる学年の繋がりで多様性を育むといった新たな教育体系を構築し、「地域に根差した学校」づくりを推進していきます。小中一貫教育の制度体系・手法については、次のとおりです。

- 施設一体型の小中一貫型小学校・中学校
- 義務教育学校

なお、「小中一貫教育の形態の選択」については定めず、今後、教育的効果の研究・検討を進めたうえで選択することとします。

〈公民館グランドデザイン〉

【目指すべき公民館の姿】

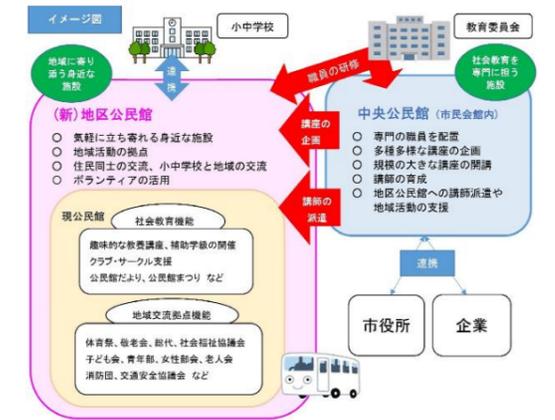
公民館の機能を 2 つに分け、それぞれの機能を十分に発揮させます。

- ① 社会教育機能（学習機能）を果たす「中央公民館」
- ② 地域交流拠点機能（地域と人のつながり）を果たす「地区公民館」

※ 地区公民館建替えの際は可能な限り小学校との複合化を検討する。

【大塚地区の公民館の配置に関する考え方】

人口規模が小さいが、大塚駅、大塚公民館周辺を地区の中心にして地域の生活圏がまとまっており、近隣の公民館への距離も離れているため、この地区に配置する公民館の数は 1 館が相当



〈保育園グランドデザイン〉

【基本的な考え方】

- 各地区、各保育園で統一的な保育サービス（低年齢児保育・延長保育）を実施できるよう適正配置について検討します。
- 基準とする規模は、一人一人のきめ細やかな保育を実現しつつ、健全な成長・育ちの観点から集団保育を保證できる保育園の規模（概ね 80~130 人程度）とします。

【大塚中学校区における考え方】

- 将来ニーズの予想

	0-5歳児計
2040年時点中学校区内保育園等入所数予想(①+②)※	110
2040年時点中学校区内居住児童の入所ニーズ予想①	120
2040年時点他中学校区の民間園への入所予想②	▲10

- 今後のあり方

- 現在の公立保育園を 2 園から 1 園に集約します。2040 年時点の中学校区内保育園等入所数予想は 110 人であり、基準とする規模内です。
- 大塚地区では低年齢児の受け入れが不足しており、施設統合の際に自園調理室を設置し低年齢児保育を開始します。

評価に関する修正意見についての対応及び考え方

番号	項目	ご意見	対応・事務局としての考え方
1	全般	各案とも同じ評価の項目が多く、差が分かりにくい。	<p>○各プランを比較するため、皆さまのご意見を参考に作成した評価項目を用いて評価を行いました。また、各プランを様々な視点から評価するため、複数の評価項目を設定しています。</p> <p>○項目の評価は、評価が複雑化し検討に差し支えないよう、3段階としています。</p>
2	全般	世代や地区によって、どの項目を重視するのかは異なる。	<p>○このワークショップは中学校区単位で実施しているため、大塚地区全体を考慮した評価をしています。</p> <p>○また、あらゆる世代の視点から多角的に評価を行うため、いただいたご意見をもとに視点ごとに評価項目を設けています。項目が多く恐縮ですが、ご確認ください。</p>
3	ア	最も多くの施設が集約されるA案は、特に世代間交流が期待できるため、他よりも評価してもよいだろう。	<p>○いただいたご意見のように、施設が複合化し交流できる世代数（保育園児、小学生、中学生、公民館利用者）により評価する場合、4世代（A案）、3世代（B、B'、C、D案）、2世代（A'、D'案）となり、「現状よりも向上」の中でも、3つに分類することができます。</p> <p>○一方、「全ての機能が一か所に集まるというのも無理がある。ある程度分散している形でも交流のしやすさは変わらない」といったご意見もあり、評価が複雑化し検討に差し支えないよう、現状より向上する全ての案について一律の◎としています。</p>

番号	項目	ご意見	対応・事務局としての考え方
4	ア サ セ	施設が離れていても運用面で工夫すれば交流は可能であるので、施設の位置関係だけで評価するのは違うと思う。	<p>○以前いただいた「地区にある多様な施設の複合化により、住民の多様な交流につながる」とのご意見より、施設の位置関係で評価をしました。</p> <p>○ご指摘いただいたとおり、施設が離れていても運用面での工夫により交流は可能であると考えています。運用の工夫については、付帯事項として第5回のワークショップにおいてご検討いただく予定です。</p>
5	エ	評価基準が分かりにくく評価に差が出ていない。	<p>○項目エ「若者・外国人などが利用しやすい施設が整備されているか」では、若者や外国人が公民館を使いやすい配慮がされているか、という視点で評価をしています。</p> <p>○ただし、若者や外国人の使いやすさは施設配置によるものではなく、情報発信やイベント実施等の施設完成後の運用による要素が大きいため、すべての案について「○」としています。</p> <p>○若者や外国人が公民館を利用するための配慮等の付帯事項については、第5回のワークショップにおいてご検討いただく予定です。</p>
6	① 追 加	施設の駐車場など、オープンスペースについても評価に加えてよいのではないか。	<p>○いただいたご意見のように、休日などに施設駐車場や校庭等をオープンスペースとして活用することも考えられます。それぞれの広さについては項目コ・ナにおいて評価しています。</p> <p>○また、駐車場等のイベント利用など施設の運用に関しては、付帯事項として第5回のワークショップにおいてご検討いただく予定です。</p>

番号	項目	ご意見	対応・事務局としての考え方
7	② 全般	車による送迎の利便性だけでなく、徒歩での送迎も楽しめるような環境があるとよい。移動のしやすさだけが子育てしやすい環境とは限らない。	<p>○ワークショップの中で、「保育園の送迎は車で行うことが多い」というご意見を参考に、車での送迎を想定し評価しました。</p> <p>○なお、ご指摘いただいた徒歩での送迎も楽しむような環境づくりなど、施設整備後に配慮すべき事項については、付帯事項として第5回のワークショップにおいてご検討いただく予定です。</p>
8	シ	放課後の子ども達の遊び場所についてももっと重視すべきだ。児童館が他の施設とプログラム上も連携することが必要だろう。	<p>○子ども達の遊び場所の確保という観点、項目シ「子ども達の遊び場は確保されているか」において、公民館や児童館の活用により評価をしています。</p> <p>○また、施設単体の運営だけでなく、他施設との連携を用いて、相乗効果を生み出すことも重要な視点であると感じています。ご指摘いただいた、プログラム上の工夫等については、付帯事項として第5回のワークショップにおいてご検討いただく予定です。</p>
9	ス	子ども達の居場所づくりについては、すべての案で「○」となっているが、他に評価項目は考えられないだろうか。	<p>○項目ス「子どもの達の居場所に選択肢があるか」は、子ども達の居場所としては学校や児童館のほか、公民館が子ども達のたまり場になるとよいといったご意見を参考に作成しています。</p> <p>○しかしながら、これらは施設配置による距離としての通いやすさだけでなく、周囲の大人の見守りや気軽に利用できる空間づくり等の運用などで実現が可能となります。よって、全ての案について「○」としています。</p>

番号	項目	ご意見	対応・事務局としての考え方
10	セ	公民館機能を他の機能と集約し、交流が増えることが望ましい。特に、公民館と保育園の集約は、利用者の生活リズムなどの面から、高齢者が活躍できるのではないか。	<p>○高齢者と子ども達の交流という観点からは、項目セ「高齢者が子ども達の活動を支えられる施設配置となっているか」において、公民館と小中学校の位置関係で評価をしています。</p> <p>○しかし、ご指摘のとおり、公民館と保育園の集合により、高齢者の力が園児との交流でも発揮される面もあることから、項目セの評価軸に保育園の位置関係も追加しました。</p>
11	④追加	高齢者の利用が多い公民館は、駅に近いなど利便性が重要ではないだろうか。	<p>○公民館の利便性という観点からは、車での利用を想定した場合として、項目ナ「駐車スペースは確保されているか」において駐車場の確保可能性を用いて評価をしています。</p> <p>○一方、徒歩での利用を想定した場合として、項目ソ「高齢者が地域活動に参加しやすい施設配置となっているか」において、半径 1.0km 圏内の公民館周辺の高齢者人口で評価しています。</p> <p>○また、くるりんバスによる利用も考えられますが、施設の再配置に応じてルートの変更がなされるものと考え、項目には含めていません。ご了承ください。</p>
12	タ	避難所の確保については、再編対象施設以外の避難所も含めて評価をすべきではないか。	<p>○大塚地区の指定避難所は、市の公共施設以外にも蒲郡東高校が設定されています。</p> <p>○項目タ及びチでは、避難所に蒲郡東高校を含めた評価をしています。</p>

番号	項目	ご意見	対応・事務局としての考え方
13	ツ	大塚金野線開通による影響を評価に盛り込むことはできないか。	○大塚金野線は、現在計画の具体化に向け、JR との協議を進めていますが、実際の整備時期は未定となっています。そのため、現状で開通時における近隣への影響を推計することも困難であるため、項目に追加することを見送らせていただきました。ご了承ください。
14	⑤追加	B 案の「西大塚に施設が残る」という点を評価できないだろうか。	○このワークショップは中学校区単位で実施しているため、大塚地区全体を考慮した評価をしています。 ○なお、避難所への通いやすさという観点では、項目チ「災害時に避難しやすい施設配置となっているか」において評価しており、大塚西保育園敷地に施設が整備され、周辺人口が大きく減少しない B 案は「○」その他の案は、「△」としています。
15	⑤追加	子ども達のセキュリティは重要な視点である。	○各施設のセキュリティの面の整備に関しては、設計方法や施設運営等による要素が大きいため、今回の施設配置における評価には含めていません。 ○なお、セキュリティ等施設配置決定後に配慮すべき事項については、第 5 回のワークショップにおいてご検討いただく予定です。
16	⑤追加	「保育園児が災害時に安全でいられる施設配置になっているか」という項目を追加するのはどうか。	○大塚地区にある全ての公共施設は、愛知県及び蒲郡市が発表している津波・高潮の被害が想定される区域には含まれておらず、配置案ごとの優劣はないと判断し、項目の追加は見送らせていただきました。ご了承ください。

番号	項目	ご意見	対応・事務局としての考え方
17	⑤ 追加	周辺の交通量を指標に「保育園の周辺が安全な環境であるかどうか」という項目を追加するのはどうか。	<p>○周辺環境の安全性が懸念されている現在の公民館周辺道路は、歩道が確保されており、かつガードレールや植栽による車道との分離もされています。</p> <p>○また、園児が園外に出るお散歩は、保育士引率のもと極力安全な経路を選択し、移動しています。</p> <p>○以上のことから新たな保育園の敷地における安全性について、配置案ごとの優劣はないと判断し、項目の追加は見送らせていただきました。ご了承ください。</p>
18	⑥ 追加	施設が東側に偏ることについて、評価に反映されているだろうか。	<p>○このワークショップは中学校区単位で実施しているため、大塚地区全体を考慮した評価をしています。</p> <p>○大塚地区全体からみた施設配置のバランスは、項目ウ、ソ、チ、トで施設の周辺人口により評価しています。ご確認ください。</p>

再配置プラン案の評価検証（修正版）

1 再配置プラン案を比較評価するための評価軸

視 点	内 容	評価項目
① 多様な人々との交流	<ul style="list-style-type: none"> ● 多世代交流ができる場は整備されているか。 ● 若い世代や外国人が集まる場所は整備されているか。 ● 地域への愛着を育む施設配置となっているか。 	ア 多様な方との交流が行いやすい施設配置となっているか。（施設の位置関係で評価） イ 交流の拠点が整備されているか。（公民館と小中学校の位置関係、児童館の立地で評価） ウ 地域行事で活用しやすい施設配置となっているか（公民館の周辺人口で評価） エ 若者・外国人などが利用しやすい施設が整備されているか。
② 子育てしやすい環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 低年齢児保育や延長保育など保育サービスは向上するか。 ● 児童クラブは利用しやすい施設配置となっているか。 	オ 低年齢児保育などの保育サービスは向上しているか。 カ 子ども達の送迎がしやすい施設配置となっているか。（保育園と児童クラブの位置関係で評価） キ 自動車を利用しやすい保育園は整備されているか。（駐車場の確保可能性で評価） ク 駅から利用しやすい保育園は整備されているか。 ケ 児童クラブは利用しやすい施設配置となっているか。 コ 広々とした校庭・園庭は整備されているか。
③ 子ども達の居場所づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 子ども達の居場所・遊び場は確保されているか。 ● 子ども達の交流機会は確保されているか。 	サ 異年齢の子ども達が交流しやすい施設配置となっているか。（保育園・小学校・中学校の位置関係で評価） シ 子ども達の遊び場は確保されているか。 ス 子ども達の居場所に選択肢があるか。
④ 生涯現役でいられる地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者のスキルを発揮できるような施設配置となっているか。 ● 退職後、地域活動に参加しやすい施設配置となっているか。 	セ 高齢者が子ども達の活動を支えられる施設配置となっているか。（公民館と 保育園 、小中学校の位置関係で評価） ソ 高齢者が地域活動に参加しやすい施設配置となっているか。（公民館の周辺高齢者人口で評価）
⑤ 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ● 交通安全に配慮した施設配置となっているか。 ● 災害に強い施設配置となっているか。 	タ 避難所機能は確保されているか。（避難所の収容人員で評価） チ 災害時に避難しやすい施設配置となっているか。（避難所の周辺人口で評価） ツ 交通安全に配慮された施設配置となっているか。（小中学校と保育園の位置関係で評価）
⑥ 利便性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ● アクセスしやすい施設配置となっているか。 ● 駐車スペースは確保されているか。 ● バリアフリーに配慮された施設は整備されているか。 	テ 交通渋滞が生じにくい施設配置となっているか。（保育園の立地で評価） ト 通学しやすい施設配置となっているか。（小中学校の周辺年少人口で評価） ナ 駐車スペースは確保されているか。（公民館の駐車場確保可能性で評価） ニ バリアフリーに配慮された施設配置となっているか。
⑦ 効率的な施設配置	<ul style="list-style-type: none"> ● 維持更新費用・運営費用は縮減されているか。 	一定期間の施設にかかる総コストが低いものを評価する。 <ul style="list-style-type: none"> ・面積が小さいなど、建替え・改築費・改修費・修繕費が安価な場合は総コストが低くなる。 ・土地の売却や借地の返還が発生する場合は、総コストが低くなる。 ・面積が小さいなど、建物の維持管理費（光熱費・保守点検費等）が安価な場合は総コストが低くなる。

2 皆さまから頂いたご意見に基づく評価

- 視点①～⑥については、評価項目ごとに ◎：現状より向上、○：現状維持もしくは一長一短がある、△：現状より低下 の3段階で評価します。
- 視点⑦については、LCC（ライフサイクルコスト）の試算における50年間の縮減額に基づき評価します。（試算の結果及び条件等は別冊資料「項目ごとの評価の解説」p.27～30のとおり。）

視 点	評 価 項 目	A 案	A' 案	B 案	B' 案	C 案	D 案	D' 案
① 多様な人々との交流	ア 多様な方との交流が行いやすい施設配置となっているか。（施設の位置関係で評価）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	イ 交流の拠点が整備されているか。（公民館と小中学校の位置関係、児童館の立地で評価）	◎	△	◎	◎	△	◎	○
	ウ 地域行事で活用しやすい施設配置となっているか（公民館の周辺人口で評価）	△	△	△	△	○	△	○
	エ 若者・外国人などが利用しやすい施設が整備されているか。	○	○	○	○	○	○	○
② 子育てしやすい環境づくり	オ 低年齢児保育などの保育サービスは向上しているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	カ 子ども達の送迎がしやすい施設配置となっているか。（保育園と児童クラブの位置関係で評価）	◎	○	△	○	◎	○	○
	キ 自動車を利用しやすい保育園は整備されているか。（駐車場の確保可能性で評価）	○	◎	△	○	○	△	△
	ク 駅から利用しやすい保育園は整備されているか。	○	○	○	○	○	◎	◎
	ケ 児童クラブは利用しやすい施設配置となっているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	コ 広々とした校庭・園庭は整備されているか。	△	◎	○	○	△	△	△
③ 子ども達の居場所づくり	サ 異年齢の子ども達が交流しやすい施設配置となっているか。（保育園・小学校・中学校の位置関係で評価）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	シ 子ども達の遊び場は確保されているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	ス 子ども達の居場所に選択肢があるか。	○	○	○	○	○	○	○
④ 生涯現役でいられる地域づくり	セ 高齢者が子ども達の活動を支えられる施設配置となっているか。（公民館と保育園、小中学校の位置関係で評価）	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎
	ソ 高齢者が地域活動に参加しやすい施設配置となっているか。（公民館の周辺高齢者人口で評価）	△	△	△	△	○	△	○
⑤ 安全・安心	タ 避難所機能は確保されているか。（避難所の収容人員で評価）	○	○	○	○	○	○	○
	チ 災害時に避難しやすい施設配置となっているか。（避難所の周辺人口で評価）	△	△	○	△	△	△	△
	ツ 交通安全に配慮された施設配置となっているか。（小中学校と保育園の位置関係で評価）	△	○	○	○	△	○	○
⑥ 利便性の確保	テ 交通渋滞が生じにくい施設配置となっているか。（保育園の立地で評価）	○	○	△	△	○	◎	◎
	ト 通学しやすい施設配置となっているか。（小中学校の周辺年少人口で評価）	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	ナ 駐車スペースは確保されているか。（公民館の駐車場の確保可能性で評価）	○	◎	○	○	○	○	△
	ニ バリアフリーに配慮された施設配置となっているか。	○	○	○	○	○	△	△
⑦効率的な施設配置	LCC（ライフサイクルコスト）試算における50年間の縮減額（単位：百万円）	4,008	3,416	3,961	3,951	3,701	3,705	3,651
	◎の個数	8	10	8	8	7	10	9
	○の個数	8	8	9	10	11	6	8
	△の個数	6	4	5	4	4	6	5
	<参考> I 視点①～⑥についての評価(75点満点)	40.91	47.73	42.61	44.32	42.61	44.32	44.32
	<参考> II 視点⑦についての評価 (25点満点)	25.00	21.31	24.70	24.64	23.09	23.11	22.77
	<参考>合計 (I + II) (100点満点)	65.91	69.04	67.31	68.96	65.70	67.43	67.09

3 グランドデザインの考え方に基づく各案の評価

- 評価項目ごとに ◎：各方針の考え方と整合している、○：各方針の考え方と概ね整合している、△：各方針の考え方と異なっている の3段階で評価します。

評価項目		A案	A'案	B案	B'案	C案	D案	D'案	
小学校	1 小学校は標準規模の範囲に収まっているか。	○	○	○	○	○	○	○	
	2 小学校の通学距離・時間は基準とする範囲に収まっているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	3 地区内の施設配置は方針で推奨されている適正化に向けた対応策に基づく配置となっているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
中学校	1 中学校は標準規模の範囲に収まっているか。	○	○	○	○	○	○	○	
	2 中学校の通学距離・時間は基準とする範囲に収まっているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	3 地区内の施設配置は方針で推奨されている適正化に向けた対応策に基づく配置となっているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
公民館	1 地域と人をつなぐ公民館となっているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	2 青少年が地域との交流活動に参加しやすいか。	◎	△	◎	◎	△	◎	△	
	3 学校との連携がしやすい環境が整備されているか。	◎	△	◎	◎	△	◎	△	
	4 地区内に配置されている公民館数がグランドデザインに合致しているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
保育園	1 集団保育を保證できる規模を維持できるか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	2 費用負担の軽減が見込まれるか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	3 地区内に配置される保育園数がグランドデザインに合致しているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	4 保育サービスの統一が図られているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		◎の個数	2	2	2	2	2	2	
		○の個数	1	1	1	1	1	1	
		△の個数	0	0	0	0	0	0	
		◎の個数	2	2	2	2	2	2	
		○の個数	1	1	1	1	1	1	
		△の個数	0	0	0	0	0	0	
		◎の個数	4	2	4	4	2	2	
		○の個数	0	2	0	0	2	2	
		△の個数	0	0	0	0	0	0	
		◎の個数	4	4	4	4	4	4	
		○の個数	0	0	0	0	0	0	
		△の個数	0	0	0	0	0	0	
＜参考＞各案の評価		(100点満点)	91.67	79.17	91.67	91.67	79.17	91.67	79.17

＜参考＞点数の算出方法

- 皆さまから頂いたご意見に基づく評価
 - ・視点①～⑥については、各評価項目の ◎=2点、○=1点、△=0点として足し合わせ、75点に得点割合を乗じた値を下表のⅠにまとめました。
 - ・視点⑦については、50年間のLCC（ライフサイクルコスト）の縮減額の最も高い案を25点とし、その他の案は縮減額に比例して減点した値を下表のⅡにまとめました。
 - ・ⅠとⅡを足し合わせ100点満点で合計を計算しました。
- グランドデザインの考え方に基づく各案の評価
 - ・小学校、中学校、公民館、保育園の4施設それぞれの得点を25点ずつとして、100点満点で評価しました。
 - ・各施設の評価項目の ◎=2点、○=1点、△=0点として足し合わせ、それぞれ25点に得点割合を乗じた値を下表にまとめました。

付帯事項について

施設の再配置を実施後に配慮すべきことや実施する上で注意すべき事項（運営面での工夫等）を抽出・整理しましょう。

（参考）これまでにいただいたご意見の一例

視 点	ご意見
① 多様な人々との交流	<ul style="list-style-type: none"> • 学校と地域の行事をともに開催できるとよい。 • 若者向けのイベントや外国人への情報発信をし、もっと交流できる施設にしたい。 • バリアフリーやユニバーサルデザインを踏まえた施設としてほしい。 • 学校や保育園などの跡地を地域で集える場所にする とよいのではないか。世代間交流や地域の活性化につ なげたい。
② 子育てしやすい環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> • 保育園から小学校、中学校へと環境が変わるよさも大 切にしたい。 • 環境になじめない子ども達の逃げ場という考え方も 必要だ。 • 複合化した際に校庭等の広さなど、子ども達が不自由 を感じないように配慮してほしい。 • 徒歩での送迎も楽しめる環境がまちの中にあるとよ い。
③ 子ども達の居場所づくり	<ul style="list-style-type: none"> • 子ども達の交流を促す機会を提供したい。 • 放課後の子ども達の居場所として、児童館と他施設の 連携や学校施設の活用ができるとよい。
④ 生涯現役でいられる地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> • 高齢者の移動を考えるとくるりんバスの本数を増や すなど利便性向上が図れないか。 • 公民館と児童館が連携することで、高齢者が子ども達 に様々なことを教えてあげられる環境にしたい。

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

<p>⑤ 安全・安心</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 施設間の交流は大切だが、子ども達のセキュリティも重要だ。 • 児童の登校にぐるりんバス等を活用できないか。 • 一般廃棄物最終処分場や再編後の施設跡地を避難所や公園として活用できないか。 • 旧道の安全対策を検討してほしい。 • 公民館周辺の道路など施設を安全に利用できるよう、自転車等に対し注意喚起をしていきたい。
<p>⑥ 利便性の確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 地域の情報が手に入るお知らせコーナーが公民館に欲しい。 • オンライン会議や学習ができるスペースがあると市の中心部まで行く必要がなくなり便利だ。
<p>⑦ 効率的な施設配置</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 他市の事例のように夜間に学校施設を地域で使うなど、うまく活用していきたい。 • 保育園跡地は民営保育園の活用可能性も含めて検討してはどうか。 • 施設駐車場などのオープンスペースをイベント時に活用したい。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 公民館の新しい名称を若者に考えてもらうなど、立ち寄りやすい施設にしていきたい。 • 海と山が近く自然が多いという大塚の魅力を活かしてほしい。 • 複合化により各施設の良さがなくならないように配慮してほしい。

本日の検討内容

- ① これまでのワークショップでの検討内容や評価結果を踏まえると、将来の大塚地区の公共施設の配置としてふさわしい案はどの案ですか。
どのようなことを重視してその案を選びましたか。

- ② 皆さまが将来の大塚地区にふさわしいと考える再配置プラン案を整理しました。
各案について配慮すべきことや実施する上で注意すべきことはありますか。